



町民の皆様へ新春のお慶びと

ごあいさつを申し上げます

令和3年の年頭にあたり、町民の皆様には日頃から町政に対する温かいご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年4月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言が発出されてから、社会経済活動も皆様の日常生活も一変したことと思います。未知のウイルスに対する不安はあるかと思いますが、有効な治療方法も見いだされつつあることから、感染予防の徹底を図りながら日常生活を送っていただければと思います。

本町の新型コロナウイルス感染症対策としては、国の特別定額給付金事業にいち早く取り組み、期限までに99・9%の住民の皆様へ給付金をお配りしたほか、小規模事業者応援給付金事業、プレミアム付き商品券事業、さらには子育て世帯や小学生から大学生までの各種支援事業など様々な事業を実施してきました。未だ終息の見通しは立っていない状況でございますので、今後も必要な支援と感染予防策を続けてまいります。

このような状況下ではありましたが、新宮町では令和3年度からの町の新たなビジョンとして「新宮町第6次総合計画」を策定いたしました。

現在の第5次総合計画は、まちの将来像を「人が輝き快適に暮らせる元

「新宮町」を掲げたもので、私の町長就任の年である平成23年度に始まった計画です。この期間中は中心市街地やその周辺に商業施設やマンションの建設が相次ぎ、急激な人口増加に対応するため、認可保育所を新たに4園開園するとともに、新宮北小学校と新宮東中学校を開校いたしました。子ども医療費の拡充や中学校での給食の実施など、子育て環境と生活利便性を評価いただき、多くの若い世代が転入され、平成27年国勢調査では人口増加率が全国で1位になりました。

令和3年度にスタートする第6次総合計画では、「人がいきいき未来をつむぐ挑戦するまち新宮」を将来像としています。気候変動などの地球環境問題や、人口減少、超高齢化社会などは新宮町も避けて通ることができません。20年後・30年後の社会情勢を意識し、これからの10年間で「何をすべきか、何をつなぐのか」を考えていかなければなりません。国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に定められた17の目標に対応した、貧困や差別のない共に支え合う環境に配慮した新宮町をつくることを目標にしています。

これからの社会は一大変革期を迎えます。この変化に適切に対応し、住民の皆様が安全に安心して生活できるよう行政運営を行ってまいりますので、町民の皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

令和3年1月

新宮町長 長崎 武利



マスクの着用・換気・手洗い・うがいをし、新型コロナウイルスに負けず、1年間心豊かに頑張りましょう！